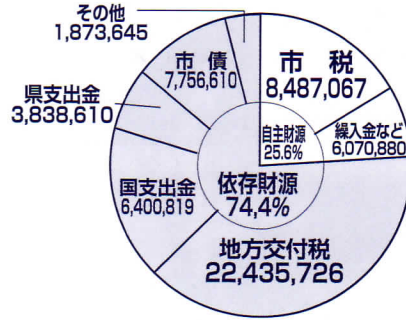


23年度決算を認定

9月定例会

一般会計 **568億6335万円**
 実質公債費比率 **14.5%**で
 “警戒ライン” 脱す
 特別会計は **266億9678万円**

23年度一般会計決算 歳入 (単位: 千円)



8月27日に開会した9月定例会において、前年度の決算認定を審議しました。平成23年度は一般会計が568億6335万円、特別会計は266億9678万円となりました。翌年度への繰越財源を除いた実質収支は一般会計・特別会計合わせて29億2061万円の黒字を計上しました。最終日の9月20日に採決があり、一般会計と後期高齢者医療特別会計は賛成多数（賛成23・反対3・欠席2 青山ゆたかは賛成）、その他の特別会計は出席者全員賛成で認定されました。

実質公債比率は14.5%と、22年度より1.6%改善され、財政運営上の「警戒ライン」を脱しました。しかし、今後も大型事業で市債の増加が見込まれるため、慎重な財政運営が求められます。

※実質公債費比率・・・公債費負担（借金返済）の度合いを測る指標。25%を超えると起債制限団体となり、単独事業の起債が一部認められなくなる。

24年度一般会計補正予算案を可決

累計は525億1千万円に

9月定例会で上程された24年度の一般会計補正予算案（第5・6号）20億5328万円は出席者全員賛成で可決されました。累計は525億1千万円となりました。

- **東部環境保全センター管理運営費他**〔651万円〕
岩手県野田村のがれき受け入れに伴う運営費、管理費の増額
 - **地域公共交通検討事業**〔3千万円〕
デマンド交通の実証実験に係る負担金補正
 - **予防接種事業**〔2450万円〕
不活化ポリオワクチン定期予防接種開始に伴う委託料増額
 - **オリジナル果樹産地育成強化事業**〔2313万円〕
雪害により被害を受けた樹園地再生支援事業で補助申請増加による増額
 - **教育振興経常費**〔1113万円〕
市内小中学校の図書購入費等
- ※7月19日に臨時議会が開催され、集中豪雨により被害を受けた農地、農業用施設、林道、河川の災害復旧費等を盛り込んだ24年度一般会計補正予算案（第4号）4億4943万円を全員賛成で可決しています。



▲好調のデマンド交通実証実験

なお、決算の審議において青山ゆたかが決算特別委員会（9月3日）および総務文教分科会で発言した項目は次のとおりです。

★フィルムコミッション事業について、全国の他自治体も同じように取り組みを行っている。どう差別化を図っていくのか。

★「ふるさと横手」首都圏PR事業の成果は？首都圏在住の横手出身者で若手のキーマンに活躍して頂く事も必要だ。

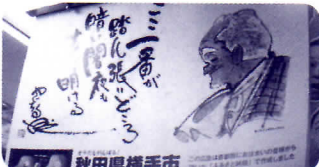
★公開による「事業仕分け」。今後の展開は？

★学校図書館に司書補助員を配置した効果は？また今後の配置についての考えは？

★スポーツ合宿について、スポーツ振興課に任せるだけでなく、教育委員会一体となって取り組む姿勢が必要だ。

★スポ少の全国大会出場における費用補助の基準変更は考えているのか？

★元市職員による横領事件に係る弁償金について、見直しは？



▲首都圏PR事業（電車に吊り広告）